

令和6年度 桃陽総合支援学校 前期学校評価アンケート

確かな 学力	健や かな身 体	豊かな 心		教職員				保護者					児童生徒					病院等関係者							
				よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来て いない	よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来て いない	わからない	そう思う	大体そう 思う	あまり思 わない	思わない	よく出 来てい る	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない	わから ない				
			学習について	① 児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	16.0%	71.0%	10.0%	3.0%	② 子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	26.0%	42.0%	23.0%	6.0%	3.0%	② 勉強はよくわかる	22.0%	48.0%	30.0%	0.0%	③ 導入されたICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	25.0%	33.0%	9.0%	0.0%	33.0%
									③ 子どもが話をしっかり聞く	39.0%	48.0%	6.0%	0.0%	6.0%	③ 私は先生や友だちの話をよく聞いている	50.0%	36.0%	10.0%	4.0%						
				③ 子どもがICT機器を利用できるように指導する	49.0%	42.0%	6.0%	3.0%	⑤ 書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集する	23.0%	39.0%	13.0%	10.0%	13.0%	⑤ 私は本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	32.0%	46.0%	18.0%	4.0%						
				④ 自主学習が習慣づく指導を行う	6.0%	37.0%	50.0%	7.0%	⑥ 子どもが自主学習の習慣を身に付ける	10.0%	13.0%	61.0%	16.0%	0.0%											
				⑪ わかりやすい授業づくりを工夫する（ICTの有効活用を含む）	23.0%	68.0%	6.0%	3.0%	⑫ 学校がわかりやすい授業を工夫する	32.0%	58.0%	0.0%	3.0%	6.0%	⑫ GIGA端末や電子黒板を使って学習することでよくわかる	32.0%	32.0%	29.0%	7.0%						
															⑬ 先生は私の質問にていねいに答えてくれる	57.0%	39.0%	0.0%	4.0%						
			生活について					① 子どもが楽しく学校（リモート学習を含む）に通う	52.0%	29.0%	10.0%	6.0%	3.0%	① 学校生活は楽しい	46.0%	43.0%	11.0%	0.0%	① 児童生徒は楽しく学校生活を送っている	24.0%	61.0%	12.0%	0.0%	3.0%	
				② 子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	22.0%	65.0%	13.0%	0.0%	④ 子どもが相手に伝わるように話す	19.0%	65.0%	13.0%	3.0%	0.0%	④ 私は思ったことや考えたことを話している	25.0%	29.0%	39.0%	7.0%						
				⑤ 子どもがすすんで挨拶できるように指導する	23.0%	45.0%	32.0%	0.0%	⑦ 子どもがあいさつをする	32.0%	45.0%	13.0%	6.0%	3.0%	⑥ 私は自分からすすんであいさつしている	21.0%	29.0%	32.0%	18.0%	④ 来校したとき児童生徒は挨拶する	19.0%	30.0%	18.0%	18.0%	15.0%
				⑥ 子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	20.0%	45.0%	35.0%	0.0%	⑧ 子どもが場に応じた言葉づかいをする	19.0%	65.0%	3.0%	6.0%	6.0%	⑦ 場面に応じた言葉づかいをしている	14.0%	46.0%	36.0%	4.0%						
				⑨ 子どもが協力し合って取り組めるような活動を計画立案する	27.0%	63.0%	10.0%	0.0%	⑩ 子どもたちが協力し合って、学校生活をおくる	29.0%	45.0%	10.0%	6.0%	10.0%	⑨ 相手の人の気持ちを考えて行動している	26.0%	46.0%	21.0%	7.0%						
				⑧ 行事のねらいを明確にし、子どもにとって意義のあるものにする	29.0%	58.0%	13.0%	0.0%	⑪ 学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	39.0%	39.0%	13.0%	0.0%	10.0%	⑩ 友だちと一緒に活動すると楽しい（TV会議などの活動も含む）	61.0%	21.0%	14.0%	4.0%	② 学校行事において児童生徒は生き生きした活動の様子が見られる	31.0%	45.0%	6.0%	6.0%	12.0%
				⑦ 社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	26.0%	61.0%	13.0%	0.0%	⑨ 子どもが社会のルールを守り、生活のマナーを身に付ける	42.0%	48.0%	6.0%	3.0%	0.0%	⑧ 学校の決まりや約束を守っている	25.0%	54.0%	14.0%	7.0%	⑤ 児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身につけている	3.0%	55.0%	24.0%	12.0%	6.0%
				⑬ 子どもが自分の健康管理に気を配れるように指導する	32.0%	58.0%	10.0%	0.0%	⑭ 子どもが自分の身体のことを気を付けて活動する	29.0%	55.0%	3.0%	6.0%	6.0%	⑮ 病院の先生や看護師さんの言われたことを守る	43.0%	36.0%	10.0%	11.0%						
			自己理解・キャリア発達に関すること	⑩ 子どもの良いところを見つけほめる	48.0%	48.0%	4.0%	0.0%							⑪ 自分自身のことを好きである	22.0%	36.0%	21.0%	21.0%						
				⑫ 子どもの相談に適切に応じ、内容を共有している	45.0%	52.0%	3.0%	0.0%	⑬ 子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	29.0%	52.0%	19.0%	0.0%	0.0%	⑭ 私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がある	54.0%	32.0%	10.0%	4.0%	⑥ 教職員に連絡や相談がしやすい	27.0%	55.0%	15.0%	3.0%	0.0%
				⑭ 子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす	37.0%	43.0%	17.0%	3.0%	⑮ 学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する/学校が自立活動についてわかりやすく説明する	35.0%	48.0%	0.0%	0.0%	16.0%	⑯ 学校生活や行事に自分なりの目標をもって参加している	25.0%	36.0%	28.0%	11.0%						
				⑮ 個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	27.0%	50.0%	20.0%	3.0%	⑯ 個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている/子どもにあった自立活動の短期目標が設定されている	35.0%	45.0%	0.0%	0.0%	19.0%											
			教育環境や地域との連携について																	⑦ 桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	4.0%	15.0%	24.0%	48.0%	9.0%
				⑯ 教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	⑰ 学校だよりやホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	45.0%	42.0%	0.0%	0.0%	13.0%						⑧ 学校だよりやホームページを見ると、学校の様子がよくわかる	13.0%	33.0%	6.0%	9.0%	39.0%
				⑰ 学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	30.0%	57.0%	13.0%	0.0%	⑱ 学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	58.0%	29.0%	3.0%	0.0%	10.0%											
				⑱ 保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	32.0%	52.0%	16.0%	0.0%	⑲ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てている	45.0%	35.0%	10.0%	0.0%	10.0%						⑨ 学校・家庭・病院・地域が連携して学校づくりをしている	15.0%	55.0%	15.0%	0.0%	15.0%
				⑲ 近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	23.0%	40.0%	30.0%	7.0%																	
				⑳ 児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%																	
				㉑ 児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	45.0%	52.0%	0.0%	3.0%																	
				「学習について」の項目は、全体を通して概ね肯定的評価が高くなっている。しかし、④「自主学習が習慣づく学習の行う」の評価が低くっており、課題であると考える。自主学習の習慣を付けるために、本校では放課後に自主学習の時間を設定をしている。日々、子どもに寄り添った教育活動を心掛けており、一人一人の子どもたちのことを大切にしている。子どもたちの相談に乗っている姿をよく見ることができる。					⑨【子どもが社会のルールを守り、生活のマナーを身に付ける」の項目の評価が高くなっている。今後も社会のルールや生活のマナーを守って生活を送ることができるように保護者と協力をしあっていきたいと考える。PTA主催の「お茶べりサロン」は本校保護者間の貴重な情報共有の場となっている。そこでは、様々な悩みや相談といったことが共有されている。今後もこの機会は大切にしていきたい。					今年度、学校目標が「まるごとの『自分』を好きになれる子どもの育成」になった。⑪「自分自身のことは好きである」の評価はを見てみると、56%と高い数字が出ている。自分自身のことが好きになれる子どもの育成が今後のことも踏まえて大切である。小集団で制約も多い入院の中での学校生活であるが、①「学校生活は楽しい」の評価は88%と高い。今後も学校生活が楽しいと思えるような取組を継続していきたい。					「普通や当たり前がなかなか体験できない入院中の子どもにとって本校・分教室はとても大切な場所だと思います。」「大人みんなで協力して、この大切な場所をよりよくして子どもたちの根っこ育てる栄養になればいいと思います。」との回答をいただいた。課題としては挨拶が課題としてあがってきている。挨拶の大事さを伝え、挨拶ができる子に育てていきたい。						

【全体を通して】

- ・児童生徒が学校は楽しいと思えるような学校作りを行うことが大事である。そのためには教職員は一人一人の子どもたちのことを大切にしなければいけない。また、授業を通して、「できる喜び」「わかる喜び」を感じるように一人一人に応じた授業作りに励んで行く必要がある。
- ・児童生徒の自主学習の習慣化に向けての定着が課題と考える。放課後学習（本校）など自主学習の定着に向けての取組を行ってはいるが、なかなか児童生徒の自主学習の習慣化の定着には繋がっていないのが現状である。この現状ならびにアンケート結果からみてもこの自主通学の習慣化の定着が課題であると考える。
- ・子どもたちは友だちとのかわわりを楽しみにしている。友だちとのかわわりを通して、子どもたちは大きく成長していつている。今後もこのような機会を大切にしていきたい。

確かな学力の育成： 本校・分教室ともICT機器を用いて授業を行い、子どもたちもICT機器の利用に対してスムーズに行うことができている。しかしながら、学習の定着には幅があるのが現状である。教職員は、よりわかる授業作りを心掛け、学習定着の底上げを目指していきたい。	豊かな心の育成： 本校では何かしらのつまづきがあつて入院に至った子どもたちが多い。分教室では、大病を患って突然の入院に至っている。そのような経緯もあってか子どもたちの自己肯定感が大変低く、自分自身を好きになれていない。学校生活を通う中でできた経験を育んでいくことで、自己肯定感の構築につなげていき	健やかな身体の育成： 家庭・病院と連携を取りながら、朝・昼・晩の三食の摂取や睡眠といった基本的生活習慣の定着を図ってきたい。本校の児童生徒は体を動かすことは好きだが、体力の向上が課題である子も多い。体育を中心に体づくりと体力向上を心掛け健やかな身体の育成に励んでいきたい。	独自の取組： 連携機関との関係を構築していく上で本校は医療とのつながりが深い。その中で得た専門性やネットワークなどを社会に還元していきたい。また、小中高等学校の病弱教育のセンター的機能も果たしていきたい。
---	---	---	---